

(仮称) 栄東地区再編小学校新築ほか設備工事に係る設備設計

選定理由及び総評

本プロポーザルは、札幌市都市局建築部が発注する工事に係る設計業務を委託する者の選定にあたり、創造性、技術力、経験などを適正に審査の上、その業務の内容に最も適した設計者を選定することを目的として実施しました。技術提案書の審査については、以下を「求める提案項目」とし、的確性、独創性、実現性等を考慮して総合的に評価しています。

- (1) 施設の長寿命化に配慮した、ZEB Ready以上を達成するための電気・機械設備計画について
- (2) 将来の設備改修を見据え、改修工事の施工性・コスト低減を考えた電気・機械設備計画について
- (3) 災害時の避難所利用を踏まえた、屋内運動場の冷暖房設備導入に係る電気・機械設備計画について
- (4) その他独自提案について(当該業務を実施するに当たり重要と考えられる視点等)

1 選定理由

【選定者】株式会社真紀設備設計事務所

空調システムの選定にあたり、災害時を考えた熱源等のリスク分散の提案に加え、ナイトパージ、DCモーターの採用といった提案など、機能維持と省エネルギーへの配慮がなされた計画であることが高く評価された。

【次点者】株式会社高木設計事務所

室の使用形態に応じた空調熱源の選定、排熱利用などの省エネ提案や、地域の水質事情を的確に考慮した防災井戸の運用などの意欲的な提案が評価されたが、選定者には及ばなかった。

2 総評

選定者及び次点者が評価されたポイントを含め、全提案を通じた傾向等を示した総評は以下のとおりです。

提案項目1については、EHP（電気ヒートポンプ）やGHP（ガスヒートポンプ）を用いた冷暖房システムや自然冷媒ヒートポンプ給湯機の提案が多くみられた。それぞれ特徴を踏まえた提案がなされており、選定者についてはZEB Ready達成に向けた、空調や照明など多くの着眼点での提案が評価されました。一方で、全体的に施設の長寿命化についての提案が不足しているといった意見がありました。提案項目2については、提案とその理由が適切に記載されていたものが少なかったです。提案項目3については、地中熱のパッシ

ブ利用や輻射熱による冷暖房、大型シーリングファン、外部電源車の接続口の導入など様々な提案があり、選定者については、コスト面等での検討は必要ではありますが、屋内運動場の空調システムの提案が評価されました。一方で、多角的な視点による検討の程度に差があったほか、建築工事を含めてコスト面や面積的な制約への配慮が不足しているといった意見もありました。提案項目4については、省エネや照明の調光調色制御、災害時の対応などの提案がありました。災害対策設備について様々な設備が提案されており評価されました。